



第225号



温故知新（ふる たず あたら し
ききをぬね、にしきを
しる）

校長 伊藤 悟

今年度、学校創立70周年を迎えられたことを心から、お祝いを申し上げますと共に、教職員の皆様、保護者、地域の皆様、卒業生の皆様、そして現在活躍中の生徒の皆さんに厚く御礼申し上げます。生徒の手による素晴らしい式典も記憶に新しいのですが、素直に80周年に向けて、また新しい歴史が作られていくことを大いに期待しています。

さて、今回は「郷土芸能クラブ」について話をさせていただきます。山王中が竿燈まつりに出場するようになり50年ほどに及ぶのが、私がまだ中学生だった頃には、課外クラブとして毎週水曜日の5時間目が練習日となっていました。竿燈まつりには学校単位での参加で、当時の担当の先生や縄組みに来て頂いた八日町竿燈会の方々には、縄の結び方や祭りについての色々なことを教わり、その時学んでいます。今がの私にとって貴重な財産となっています。

現在の山王中は、十数年くらい前から「親町内」として上米町一丁目竿燈会の皆さんに指導を仰ぎ、竿燈みや練習、祭り期間の運営において大変お世話になっております。以前は祭りが近づくかと練習をして本番を迎えていました。が、現在では毎年11月から翌年の3月の間に月一回の「Festive」プロジェクト」として、冬期間にも練習を行っています。生徒だけでなく、たくさん大人の大人や町内の子どもたちも参加して一緒に練習をしています。幅広い世代の交流を通して練習することで、生徒にとっても学ぶことができ、とても貴重な時間となっています。この学びを通して、様々な方々から教えてもらったことや手助けしてもらったことを、将来、自分の周りやいる地域の子どもたちにもおすそ分けできる大人になってほしいと思います。昨年、秋田では水害が起き、年明けには能登地方の地震や飛行機事故が起るなど心配は尽きない状況ですが、生徒の皆さん一人一人が、自分にできることに、やるべきことを考えて行動し、元気に活躍する一年となりますよう願っています。



齊藤昭二

生徒の活躍

【東北中学校体育大会】 ■女子バスケットボール 第3位 ■卓球 男子個人 新開 千裕 ベスト12(全国大会出場) ■水泳 男子総合 優勝 1500m自由形 加藤 陽 第2位 400m個人メドレー 伊藤 拓海 第8位 50m自由形 近藤 テオ 優勝(全国大会出場) (※大会新) 200m自由形 加藤 陽 第7位 200mバタフライ 成田 凛太郎 第8位 100m自由形 近藤 テオ 優勝(全国大会出場) 200m個人メドレー 伊藤 拓海 第6位 4×100mフリーリレー 優勝(全国大会出場) (※予選で大会新) (近藤テオ・伊藤拓海・成田凛太郎・加藤陽) 4×100mメドレーリレー 第2位(全国大会出場) (近藤テオ・伊藤拓海・成田凛太郎・加藤陽)	【ソフトテニス県1年生大会】 ■男子個人 古田心宏・木次谷稜久 第2位(全国大会出場) ■女子個人 石塚紗紗・鎌田ひまり ベスト12(全国大会出場) 【ソフトテニス県1年生大会】 ■男子個人 古田心宏・木次谷稜久 ベスト8 【男鹿市招待バレーボール大会】 ■バレーボール 準優勝 優秀選手賞 高橋 桜月 【市民スポーツ祭バレーボール大会】 ■バレーボール Aグループ 第2位 【森吉招待バレーボール大会】 ■バレーボール 第3位 【市民スポーツ祭卓球大会】 ■卓球 男子シングルス 松本 和己 第5位 長谷川晋大 第5位 【市民スポーツ祭柔道大会】 ■柔道 男子個人(中学1年の部) 加賀谷 優希 第1位 伊藤 暖暁 第3位 (中学2年の部) 佐藤 審 第3位 【湯上市柔道大会】 ■柔道 男子団体 優勝 【RCSカップバスケットボール大会】 ■男子バスケットボール 優勝 【横手明峰カップバスケットボール大会】 ■男子 藤原 楓 優秀選手賞 ■女子 藤原 明夏 優秀選手賞 【能代カップバスケットボール大会】 ■男子バスケットボール 第3位 【市バレーボール協会】 三浦 桃果 優秀選手賞 【市バスケボール協会】 本庄 星空・熊谷 実輝・吉岡 彩雪・柴山 咲妃 優秀選手賞 スポーツ優良賞 【市柔道連盟】 武蔵 美沙、和泉 彩夏 【東北吹奏楽コンクール】 ■中学生の部 銀賞 【日本管楽合奏コンテスト予選審査会】 ■中学生A部門 最優秀賞(全国大会出場) 【日本管楽合奏コンテスト全国大会】 ■中学生A部門 優秀賞 【秋田県アンサンブルコンテスト中央地区予選】 木宮八重奏 金賞(県大会出場) (澤井 優奈、大須賀末緒、山上 希愛、村田みつき、 畠山 真奈、島本 凛、高橋 実歩、三浦 小和) 打楽器四重奏 金賞(県大会出場) (鷲谷 凜心、見澤 達、大谷くらら、山田菜々子) 【秋田県アンサンブルコンテスト】 木宮八重奏 金賞(東北大会出場) (澤井 優奈、大須賀末緒、山上 希愛、村田みつき、 畠山 真奈、島本 凛、高橋 実歩、三浦 小和) 打楽器四重奏 金賞(東北大会出場) (鷲谷 凜心、見澤 達、大谷くらら、山田菜々子) 【秋田マーチングフェスティバル美郷大会】 ■パト編制 中学校の部 優秀賞(東北大会出場)	【マーチングバンド・パトワークリング東北大会】 ■学校部門 中学校の部 金賞(全国大会出場) 【パトワークリング全国大会】 ■学校部門 中学校の部 銀賞 【モデルロケット秋田県大会】 ■科学 堀井 愛月、武藤 花音 第3位 鎌田 悠成 第5位 【市児童生徒理科研究発表大会】 ■科学 小野寺蒼士、佐々木 舜 入賞(県大会出場) 仁部 廣弥、今野 結太、渡部奏太郎 入賞(県大会出場) 【県児童生徒理科研究発表大会】 ■科学 小野寺蒼士、佐々木 舜 藤原直三・山崎貞一賞 <発表題「紙の筒1つでどれだけの重さに耐えられるか」> 【市中学校英語暗唱弁論大会】 ■暗唱の部 桐越 優芽 第2位 【市中学校弁論大会】 戸田ののか 優秀賞 【技術・家庭科研究会東北大会生徒作品展】 高階 美羽 優秀賞 【「税についての作文」 齋藤 美咲 優秀賞 【わか杉チャレンジフェスティバル】 渡辺 太陽、小畑 汰介 優秀賞 【秋田県児童生徒美術展】 ■平面的部 飯嶋 なる、石田 利奈、平澤 皇、 宮里 華音、武蔵 美沙、原田 琉花 入選 【総社の杜俳句大会】 ■森下 和輝、今野 千礼、堀家 咲葉、伊藤 慧香、 今野 結太、藤原 遠哉、熊谷 有芽、矢野 佐、 浅刈 成希、原田 琉花 優秀賞 【石井霞月顕彰全国俳句大会兼秋田市短詩型大会 中学生の部】 藤原 優空 秀逸 ■柴田 伊織、大後純太郎、内藤 優衣、渡邊 大智、 近藤さくら、堀川 空来、高橋 将真、山正 和尚 入選 【市民児童児童生徒作品コンクール】 ■書道 嶋崎 優美 優秀賞 鎌田ひまり、柴田 彩世 優良賞 佐藤 唯花 入選 田村 優祐、武藤 花音 優良賞 玉井 優守、菅原 一絆 佳作 小玉 千歳、吉田 伊咲、橋本 浩祐、 内藤 優衣、池田 柚香、相原 悠美、 石川 芽瑠 入選 【秋田市席書会】 ■半紙の部 嶋崎 優美、佐藤 唯花、大坂 莉子 金賞 鎌田ひまり 銀賞 山田 紗依、柴田 彩世、高橋 優斗 銅賞 内村 和向、渡邊澤水那 入賞 ■条幅の部 嶋崎 優美、大坂 莉子 金賞 佐藤 唯花 銀賞 鈴木 心尋 銅賞 【秋田県席書会】 ■条幅の部 嶋崎 優美 銀賞 【書友展】 ■半紙の部 鎌田ひまり、佐藤 唯花、嶋崎 優美 優秀賞 鈴木 心尋、高橋 優斗 入選 【秋田市児童生徒作品展覧会】 ■半紙の部 嶋崎 優美 金賞 ■硬筆の部 嶋崎 優美 金賞
--	---	--

全国大会に出場して

男子水泳部主将 3年 近藤 テオ

僕たちは、香川県で行われた全国中学校水泳大会に出場しました。今大会は外プールでの開催だったため、天候に左右され条件が整えられず、全員思うような結果を出すことができませんでした。しかし遠征を通して、みんながひとりひとりの力に動かし、チームでひとつの目標に向かって進んでいくことの重要さに改めて気付くことができました。これからは、全国の舞台で活躍できるように選手になれるよう日々の練習を頑張っていく予定です。

高知県で開催された全国大会は、私にとって中学生最後の大会でした。市中総体から勝ち進んで手にした全国大会への道りは、自分との戦いでもありました。昨年全国を総懸したからこのフレッシャー、目指す目標の全国ランカールにこそ、という思い、試合が負け付くくらい大きくなりましたが、不安に負けないよう必死で練習しました。結果としては昨年の自分を超えられませんが、これからの自分自身に大きな磨きをかけて、全国で結果を残せる選手になれるよう努力していきます。

卓球部(女子個人) 3年 新開 千裕

吹奏楽部部長 3年 関本 美優

管案合奏コンテスト全国大会にむかう練習の中で、私たちは演奏面だけでなく、行動面や人間性も大きく成長することができたと思います。全国大会という舞台はともっと緊張しましたが、師範先生と部員全員で練習の成果を披露し、最高の音楽を創り上げたことができたと思います。全国大会では初めてのレベルの高さを実感しました。全国出場していた他の学校の演奏は、技術がとても高く、聴いていてとても感動しました。他の学校の演奏を聴いたり、みんなで最高の演奏ができたという点、そしてとても貴重な経験になりました。

全国大会に出場して、私は楽しんで演技することの大切さを改めて感じました。私たち演技者も笑顔にならなくては、演技のよさがより伝わると思います。当日は自然体の笑顔で演技できました。悔いのないよう練習することの大切さも感じました。私は本音が近く近くから集りが出てきたので、先を見据えて計画的に練習することが必要だと思います。目標にしていた「全国金賞」は届きませんでした。最後はチーム全員が笑顔で有終の美を飾ったので満足しています。

バトン部部長 3年 小幡 瑞姫

全国大会に出場して、私は楽しんで演技する。そのと大切さを改めて感じました。私たちが演技者として笑顔になることで、演技のよさがより伝わると思っています。当日は自然体の笑顔で演技できました。また、毎日のよいよう練習することの大切さも感じました。私は本番が近くなことから焦りが出てきたので、先を見据えて計画的に練習することが必要だと思いました。目標としていた「全国金賞」は届きませんでした。最後はチーム全員が笑顔で有終の美を飾れたので満足しています。

第225号 令和6年1月29日(月) — 私たちの合い言葉 「勇往邁進～我らの道を切り拓く～」

山王学区「大人が子どもを育てる街に」

【発行】 秋田市立山王中学校
秋田市山王三丁目1番24号 TEL823-8361

【協賛】 山王中学校 PTA
山王中学校教育振興会

【印刷】秋田印刷製本株式会社 TEL839-7554

志プロジェクトの取組

今年度の志プロジェクトは、例年以上に充実した取組になりました。実施した内容は次の通りです。

- 〔6月〕激励講話会と防災講話会Ⅰ（全校）
 - 〔7月〕職場体験学習（2年生）
 - 〔11月〕小学生体験入学（1年生）、盲導犬講話会（2年生）
 - 〔12月〕防災講話会Ⅱ（全校）、幼稚園との防災訓練、福祉講話会（3年生）、インドネシアの中学生との国際交流（1・2年生）
 - 〔1月〕地域企業ガイダンス（2年生）
- SDGsの目標とこれらの取組とを関連付けながら学習することができました。

■これからの社会を生きる

私は、この三年間の総合学習の授業で、環境や職業福祉などいろいろなことを学びました。その中でも、特にSDGsについての学習で考えを深めることができました。地球温暖化やLGBTQに対する差別、人々の生活のうえでの格差など、世界ではたくさん課題を抱えています。これらを解決し、誰もが生活しやすくするために、これからの社会を生きる私たちができることをすべきたと思います。総合的な学習は、私にとって、とても役に立つ学習だったと思います。

（6組 鈴木 心愛）

■未来を生きる者として

私は、三年間の総合的な学習を通して、ふるさと秋田のよさや課題を理解し、SDGsなどの視点から様々な活動に取り組みました。志講話会では秋田で活躍する方々のお話を聞き、秋田の自然環境を生かす取組やスポーツなどを通して、幅広い世代が参加できる持続可能な社会の実現につなげているということを感じました。私も社会のためになることに積極的に取り組み、今そして未来を生きる者として、自分にできることをこれからも考え続けたいと思います。

（4組 植田 朱音）

■秋田のために

総合的な学習の時間では、職業やSDGsなどの調べ学習や講話会、行事などを通して、「いかに生きるかを考えました。しかし、この問いを考え続けることが人生だと私は思うため、はつきりとした答えを出すことはできませんでした。但し、一つだけ言えることは「秋田のために生きたい」ということです。私は、三年間で多くの選択肢を手に入れることができました。これからの選択肢は無限に増えるだろうと思います。その中で私は、秋田のためになる選択をしていきたいと思います。

（1組 渡辺 太陽）

3年生 共生社会の実現に向けて、未来を生きる者として何ができるか
この先「社会の一員として」、「志をもって」、未来を生きる者として、いかに生きるかを考えるために学習しました。修学旅行を通じた首都圏と秋田のよさの比較、地域の一員としての避難訓練の実施、また、福祉の現状を理解し、自分にできることを考え生活に活かそうとしました。これらの活動を通して、自分の理想の生き方について考えました。



創立70周年を迎えて

■わたしたちの合い言葉『勇往邁進』

「山王中学校が創立70周年を迎えて、これからの山王中にはどのような言葉がふさわしいか」を、今年度がスタートしてからずっと考え続け、ようやく創り上げることができたのが『勇往邁進』我らの道を切り拓く』です。この言葉には山王中生ひとりひとりが、大地を一步ずつ踏みしめながら未来を目指して歩んでいく、という決意と願いが込められています。秋田市の人口が年々減少し続けていますが、山王中もいずれ、どこかの中学校と合併する日がやってくるのかもしれない。だからこそ、山王中のために、秋田の未来のために、今できることを私たちが頑張らなければならぬと思います。『勇往邁進』の合い言葉と共に、私たちは力強く前進していきたいと思います。

（第71期生徒会長 3年 見澤 礼）



■盲導犬講話会に参加して

目が突然見えづらくなったら不安や歩くことの恐怖を感じると思います。そんな人たちにとって盲導犬は生活を共にするパートナーであり、心強い存在だということを知りました。講話会を通して目が不自由な人たちが盲導犬と家族のような関係を築き、大切に思っていることが素敵だなと思いました。盲導犬を連れた方を私もよく見かけるので、これから何か困っていないか声をかけていきたいと思います。

（6組 宮里 華音）

■インドネシア中学生との国際交流について

私は今まで文化の違う人たちと仲良くなることは難しいと思っていました。しかし、今日の交流でとても楽しく交流できたと思います。そして、私が印象に残っていることは二つあります。一つ目は風船バレーです。体を動かして交流ができたのでコミュニケーションがとりやすく楽しかったです。二つ目はタンさんへの質問です。インドネシアで食べられている料理やタンさんの好きなのを知り、話が盛り上がりました。違う文化で育っても意志を伝え合うことは変わらないと分かりました。これからも英語を勉強していろいろな場所に住んでいる人と話してみたいと思います。

（6組 石川 芽璃）

■地域企業ガイダンスに向けて

今、学習を進めている地域企業ガイダンスでは、私たちが住む秋田にどのような企業があるか理解を深めることができます。また、自分が秋田に対してできることは何かを考えるよい機会になると思います。現在、秋田では少子高齢化が進み、労働力が不足しています。コロナ禍を経てどのような対応や工夫があるかを学ぶことで、将来、ふるさとを支えていく力になれると思います。やりがい、働き方など学ぶことはたくさんあります。将来についての学びを深めていきたいと思います。

（3組 伊藤 優衣）



2年生 共生社会の実現に向けて、社会の一員、今を生きる者としてなにができるか

2年生では上記のテーマのもと、障害理解教室「盲導犬を知ろう」、インドネシアの中学生との交流、地元企業15社を招いての地域企業ガイダンス等、様々な角度から「社会の一員、今を生きる者として何ができるか」を考える学習活動に取り組んでいます。

1年生 共生社会の実現に向けて、地域の一員として何ができるか ～「環境」の視点から～

1 はじめに SDGs の 17 の目標の内容について学習した後、目標の 6 番「安全な水とトイレを世界中に」、13 番「気候変動に具体的な対策を」、14 番「海の豊かさを守ろう」15 番「陸の豊かさを守ろう」の中から各自が一つ選択し、その現状、対策等を調べレポートにまとめています。目標達成のために「自分には何ができるのか」を考えて記載することにしており、完成後は発表会を開いて互いの考えを共有していく予定です。



■小学生体験入学を振り返って
小学生体験入学で私が特に頑張ったのは、代表委員として、パワーポイントを使いながら中学校生活の紹介をしたことです。ステージ上でマイクを使つて話すのはとても緊張しましたが、大きな声でハキハキ言えるように、家でも繰り返し練習をしました。早口にならずに間をしっかりと取って、全体を見渡しながら話す練習もしました。本番は練習通りにできてとてもうれしかったです。

（2組 長崎くぐり）

■インドネシア中学生との国際交流
インドネシアの中学生との交流は、環境保持委員会企画・運営・準備と大変なことがたくさんありましたが、仲間と協力し合って無事成功させることができました。クラスでの交流では、みんなが明るく笑顔で話しかけていたのが印象的でした。英語で話したり聞き取ったりするのは難しかったですが、言葉が通じたと分かった時は本当にうれしかったです。今回の貴重な体験を、今後の生活にも生かしていきたいと思います。

（1組 柴田 伊織）

■SDGsの学習

1 年生の総合的な学習は、SDGsの17の目標の内容を確認し、「6」「13」「14」「15」の4つの目標について重点的に調べています。その中で私は「14 海の豊かさを守ろう」という目標に興味をもち、その現状や対策について調査をしています。私たちの身近にある企業においても、この目標の達成のための活動に取り組んでいる事が分かりました。私自身も何をすべきかを考え実行することで、「海の豊かさ」の向上に貢献していきたいと思います。

（3組 橋 いちか）



第72期生徒会執行部の活動
生徒会長 2年 渡邊 大智

第72期生徒会がスタートしました。学校を引っ張っていく存在である執行部としてこれから力を入れたいことをお伝えします。

一つ目は、山王中学校70周年で新しく考案された『勇往邁進』我らの道を切り拓く』という合い言葉全校生徒に定着させることです。第71期生徒会の思いを受け継ぎ、合い言葉を意識した学校生活を送れるようにしたいと思います。そのために、ポスターなど全校に配置できるものを制作し、掲示したり、合い言葉を記した山王中オリジナルグッズを制作したりしていこうと考えています。

二つ目は、挨拶をよりよいものにしていくことです。山王中の代名詞は「挨拶と歌声の響く学校」です。中でも挨拶をよりよくしていけるよう生徒会執行部では重点的に取り組んでいます。目を見て挨拶をする、立ち止まって挨拶をする、ということは山王中では当たり前に行っている生徒が多いです。生徒会執行部で普段から行っている挨拶運動を今よりも積極的にを行い、一人一人がより活気ある挨拶をできる学校にしていきたいと思います。

また、生徒会執行部では山王中の公式マスコットキャラクターの制作を進めています。山王中らしいマスコットキャラクターを制作して、より地域に愛され、生徒が愛着をもてる学校にしていきたいと思います。

10月からスタートした新生徒会執行部には、初めて全校をリードする役割に就いたメンバーも多いのですが、全員が新しいことへのチャレンジや、積極的に行動することを楽しみながら活動できています。これから執行部一同で協力し知恵を出し合うことで、全校生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、日々努力していきます。